

更生保護

ふくやま

発行

福山地区保護司会
福山市三吉町南2-11-22
福山すこやかセンター
携帯 080-6340-1347
FAX. (084)928-3418



矯正施設参観研修（岩国刑務所）

第74回「社会を明るくする運動」作品展2024 in ふくやま」を終えて

福山地区保護司会会長 栗田 孝生



福山市青少年の非行・被害防止並びに社会を明るくする運動推進委員会（会長福山市長）主催、同実行委員会（福山地区保護司会・福山地区更生保護女性会）主管、法務省広島保護観察所・福山地区協力雇用主会・福山地区BBS会後援、広島県保護司会連合会・広島県更生保護女性連盟・福山地区更生保護協会の協賛で、8月18日～29日の12日間、まなびの館ローズコム

ロビーにおいて開催しました。実行委員会の皆様には、準備から片付けまで大変お世話になりました。

展示作品は、広島保護観察所から広島矯正管内文芸作品コンクール優秀作品44点、広島少年院・貴船原少女苑在院生の作品34点でした。

福山地区保護司会からは、刑務所作業製品、総理大臣メッセージ・市長あいさつ、第73回「社会を明るくする運動」福山地区「作文コンテスト」優秀作品10点、保護司会の活動写真、のぼり、ポスター、ぬりえを展示しました。

今回はぬいぐるみ「ホゴちゃん」を借用し展示していたことで、夏休みの子どもたちの気持ちを掴みました。ぬりえの提出数が41枚と昨年より多く掲示できたことがその証明でしょう。

ロビーでの展示は一般の閲覧者の人数の確保につながり、1,600人を超える人々の参加をいただき社会を明るくする運動の啓発に貢献できました。

矯正施設で更生を図っている在院生のところを作品にみることで、彼らが一般社会に戻った時に、差別や偏見のない受け入れができるのではないのでしょうか。

次年度もこの展示会を開催し、ローズマインド「思いやり 優しさ 助け合いの心」を持つ地域社会をつくっていきましょう。





安全・安心で持続可能な保護司活動のために 広島観察所所長 古賀 正明

福山地区保護司会の皆様におかれましては、安全・安心で明るい地域社会を作るために、日々、更生保護の諸活動に御尽力いただき、誠にありがとうございます。

皆様の保護司活動、そして保護司制度そのものが、時代の変化に適應できる持続可能なものとなるよう、「持続可能な保護司制度の確立に向けた検討会」が法務大臣に報告書を提出し、その概要が公表されました。皆様も御存知のとおり、令和6年春に大津市で保護司がお亡くなりになる事件が発生したことを踏まえ、「保護司の安全・安心の確保」という論点も加えた内容になっています。

法務省として取り組むこととしては、以下の5つの施策等があげられます。

1つ目は、新任保護司委嘱時の上限年齢（今は原則66歳以下）を令和7年度から撤廃することです。もちろん、各地区保護司会の年齢層のバランスを考慮する必要があります。

2つ目は、保護司の報酬制を見送って、実費弁償金の充実を図ることです。保護司の無償性は、利他の精神や人間愛に基づく「保護司の地域社会における自発的な善意を象徴するもの」で、なお堅持していく価値があるとの結論に今回は至りました。

3つ目は、どのようになるか未定ですが、保護司の任期（2年）の見直しです。長く保護司活動を継続していく意欲を喚起できるよう、十分な期間を確保するかどうかを考えていくというものです。

4つ目は、保護司法などの見直しです。まずは、第1条にある「地域社会の浄化」という表現を改め、現場の保護司の意見を踏まえて「安全で安心して暮らせる地域社会の実現」という実態に即した表現に見直す予定です。このほか、保護司の具備条件（第3条）、地方公共団体の努力義務化（第17条。保護司や保護司会の活動に対し地方公共団体が地域の実情に応じて、必要な協力をするように努めなければならないものとする）等の改正を検討しています。

5つ目は、保護司の安全確保です。安心して保護司活動を継続するための取組の強化、保護司の家族への支援充実、面接場所・面接方法の選択肢の拡充、保護観察官の増員を含む保護観察等の実施体制強化があげられます。このほか、保護司法改正の一案として、「国による保護司の安全確保義務を規定すること」も検討しています。

もちろん、上記の内容は非常に重要ですが、制度やハード面だけでなく、熱心な福山の保護司の皆様にご教示をいただきながら、皆様の諸活動を進めやすくするソフト面の充実も重要です。「犯罪や非行のない、被害者も加害者も生まない安全で安心な福山地区」を実現するためにも、今後とも皆様方の御理解と御協力を宜しくお願い申し上げます。

矯正施設参観研修 研修部部长 松岡 久美子

10月31日(木)総勢33名で岩国刑務所へ矯正施設参観研修に行きました。往復のバスの中ではDVDによる薬物依存症・ダルクなどの研修も行いました。

岩国刑務所は、明治5年に「岩国監倉」として始まり平成元年から女子受刑者を収容開始したことなど施設の沿革から現状まで丁寧な説明を聞くことができました。

女性刑務所ならではの特性として、受刑者数が男性に比べて圧倒的に少ないため、年齢や初犯や累犯などで分けられないことや刑務所内での受刑者同士でのめ事が少ないこと、職員は圧倒的に女性が多いことなど聞かせてもらいました。

また、日本の人口動態と同じく、刑務所内でも高齢化が進み、定時処方薬を必要とする受刑者が62%、精神薬を処方されている人は51%おられるとのことでした。最高年齢のかたは94歳だそうです。その上、精神障害や身体障害の割合も高く、罪を犯すまでの人生においても社会的弱者であった可能性が考えられるとのことでした。



平均実刑は3年ですが、2年以内に再犯する人が1/3とのこと、社会的弱者を生まない、取り残さない社会に少しでも近づけるよう、保護司として犯罪予防活動や再犯防止の取り組みを考えながら行っていきたいと思いました。



総務部の活動紹介 総務部部长 三上 貴久美

総務部部长を務めております6分会の三上貴久美です。気が付けば保護司歴20年目を迎え、これまで多くの保護司会活動を経験してまいりましたが、総務部部长に就任し、改めて活動の奥深さや主体的に関わることの重要性を実感しております。

総務部の活動は、年度初めの定時総会に始まり、保護司内薦委員会、退任保護司との協議会、新年互礼会並びに叙勲・褒章受章祝賀会、そして、総務部会、常任委員会、役員会と年間を通して活動しております。私は、役員になって活動の詳細を理解すると共に会員の方との交流も増え、役員になれたことが自分の人生にとって大きなプラスになったと思っています。人生、一生勉強という言葉がありますが、まさにその通りで私自身、いくつになっても学ぶことは尽きないと保護司会活動を通して実感しています。

近年、定年の延長などで就労期間が長くなり、保護司会活動に時間をとることが難しくなっている方も増えてきている現状も重々理解した上で、多くの会員の方が、忙しい中でも活動への時間配分をしてくださることを心より願っております。

今後とも、みなさんにご協力をいただきながら活動を進めてまいりたいと思っておりますので、ご協力よろしく申し上げます。



う たゆま ず
倦まず弛万寿

意味は「1つのことを始めたら途中で投げ出さず努力して行うこと」

5分会 松岡舟波(幸彦)

第74回“社会を明るくする運動”福山地区「作文コンテスト」

第74回“社会を明るくする運動”福山地区「作文コンテスト」は、小学校58校・3,017点、中学校24校・1,713点のご応募をいただきました。審査の結果、優秀作品小学校5点・中学校5点、入選作品小学校16点・中学校10点を選考し、その表彰式を11月23日(祝日)に福山すこやかセンターでおこないました。

【福山市長賞】(広島県に推薦)

駅家北小学校 横畠 麻友

「罪をにくんで人をにくまず」

城北中学校 鯖江 百波

「当たり前が尊いということ」

【福山市教育委員会 教育長賞】(広島県に推薦)

津之郷小学校 横山 大騎

「悲しみの連鎖を断ち切るために」

駅家南中学校 山田 隼大

「行動前の一呼吸」

【福山地区保護司会 会長賞】

手城小学校 瀬良 真生

「社会を明るくする運動」

松永中学校 石田 あこ

「チャンス」

【福山地区更生保護協会 理事長賞】

春日小学校 楨谷 琉那

「あいさつの力」

鷹取中学校 井上 芽依

「良い所」

【福山地区更生保護女性会 会長賞】

久松台小学校 黒瀬 遼平

「ささいなことから」

向丘中学校 渡守武 美波

「環境の大切さ」

【入選者】

《小学校の部》

有磨小学校
遺芳丘小学校
駅家西小学校
大谷台小学校
春日小学校
神村小学校
新市小学校
常石とも学園
戸手小学校
鞆の浦学園
長浜小学校
西小学校
久松台小学校
福相小学校
道上小学校
南小学校

河村 優聖
井上 美希
柏原 弥織
松坂 彩矢
藤井 真菜
木藤 綾音
内山 結稀
實川 友教
木村 桜介
丑田 知花
三木 結依
吉田 彩優
横藤田 綾音
武安 柚奈
笠原 依央
増本 瑛麻

《中学校の部》

芦田中学校
駅家南中学校
神辺中学校
至誠中学校
城東中学校
城南中学校
城北中学校
新市中央中学校
誠之中学校
東朋中学校

江種 千紘
伊藤 大凱
村藤 夏奈
立山 芽依
岩本 紗英
森井 咲絢
木村 日葵
清水 麻衣
玉崎 杏奈
高原 玲那

表示順は学校名のあいうえお順です



令和6年度広島県更生保護功労者・顕彰式

法務大臣表彰

②川上 玲子 ②藤井 恵 ⑥渡邊 見眞 ⑧藤井 洋光

全国保護司連盟理事長表彰

③中村 恵美 ④喜多村 紀子 ⑦佐藤 澄江 ⑦松本 廣行

中国地方更生保護委員会委員長表彰

③花谷 忠厚 ④西本 薫 ⑥江草 修 ⑥吉川 敬子 ⑥中山 孝範
⑧掛谷 富實雄 ⑧長谷川 眞澄 ⑨谷本 徳夫

中国地方保護司連盟会長表彰

①高橋 秀年 ①宮原 敏典 ③大森 一治 ④赤柴 宏丞 ④石井 信夫 ⑤松岡 久美子
⑥高田 幸男 ⑥豊田 瑞恵 ⑥中根 清恵 ⑦高尾 英子 ⑨榊原 晶子

広島保護観察所長表彰

①佐藤 邦彦 ①原田 寛雄 ②池田 勝輔 ③岩本 透 ③延明 智 ③小林 啓二
③高橋 俊博 ③細川 明広 ④枝広 直幹 ④神原 誠 ⑤大村 良人 ⑥宮武 龍
⑥三次 弘樹 ⑥龍華 直 ⑦後川 芳治 ⑦藤原 勝彦 ⑧小方 保幸 ⑨藤井 徳義

広島保護観察所長感謝状（家族功労）

②川上 泉（川上 玲子） ⑤尾上 文枝（尾上 豊） ⑤眞田 敬子（眞田 鈺治郎）
⑥三上 福三（三上 貴久美） ⑦佐藤 明（佐藤 澄江） ⑧栞田 裕子（栞田 孝生）
⑧藤井 延枝（藤井 洋光）

広島県保護司連合会会長表彰

①阿吹 正宏 ①佐藤 裕美 ②高田 信吾 ②竹野 知子 ③上代 隆志 ④井出 和雄
④伊藤 雅美 ⑥清水 利彦 ⑥藤本 真悟 ⑥森田 充泰 ⑥門田 剛年 ⑧谷中 宣之
⑧内藤 了瑞 ⑧目崎 仁志 ⑨藤原 章弘



福山地区保護司会活動記録 (令和6年6月～令和6年11月)



6月5日・13日 9月4日12日 地域別定例研修
【福山市民参画センター】



6月17日 11月12日 中学校連絡担当保護司合同会議
及び 研修会
【福山すこやかセンター】



6月19日 第1回社会貢献活動
【障害者支援施設 春日寮】



6月25日 退任保護司との協議会
【中華ダイニング 青冥】



7月6日 "社会を明るくする運動"街頭啓発活動
「更生保護の日」記念講演
【ふくやまポートプラザ・福山サポートセンター】



7月10日 総理大臣メッセージ伝達式
【福山市役所】



7月13日中学生の主張大会
【福山市北部市民センター】



7月13日 福山市青少年育成市民運動推進大会
【県民文化センターふくやま】



8月18日～29日 第74回”社会を明るくする運動”作品展
【まなびの館ローズコム 1階ロビー】



8月18日 チャリティー茶会
【まなびの館ローズコム4階大会議室】



10月4日 作品展実行委員会
【福山すこやかセンター】



10月4日 作文コンテスト実行委員会
【福山すこやかセンター】



10月16日 第2回社会貢献活動
【高齢者デーサービスホーム 蔵王の家】



10月31日 施設参観研修
【岩国刑務所】



11月18日 新任保護司予定者ガイダンス
【福山すこやかセンター】



11月23日 作文コンテスト表彰式
【福山すこやかセンター】

祝 秋の叙勲受章者 瑞宝双光章 第7分会 三谷伸司

今後の事業予定(12月~4月)

【12月】

- 第4回内薦委員会(12/3)
- 第3回地域別定例研修(12/4,12)
- 正副会長・分会長・事務局会(12/16)
- 第2回理事会(12/16)
- 退任保護司との協議会(12/18)

【1月】

- 第3回社会貢献活動(1/15)
- 令和7年福山地区保護司会新年互礼会
並びに叙勲褒章受賞祝賀会(1/24)
- 保護司候補者内薦委員会(1/27)
- 第3回理事会

【2月】

- サポートセンター運営委員会
- 福山地区更生保護女性会との交流会
- 至近就任保護司研修会(2/26)
- 正副会長・5専門部正副部長会議
- 5専門部会

【4月】

- 福山地区保護司会定時総会(4/22)

編集後記

大きく変化している社会に保護司制度はどう適応してしていくのか。法務省検討会の報告書が提出されましたので、内容を共有しておきたいという意向で観察所所長に原稿をお願いしました。

又、今号より専門部の活動紹介も始まりました。今後とも、的確な情報を提供していきます。扱って欲しい内容など、ご意見・ご希望がございましたら、どうぞお寄せ下さい。

広報委員

岡部 徳雄 森田 充泰 高橋 俊博 内海 博文
三吉 富士子 門田 雅彦 長谷川 眞澄
遠藤 敏明 三藤 範義 小畑 和正 三次 弘樹

退任保護司紹介(11月30日付)

- ②藤井 恵 ④三島 俊伸 ⑤那須 逸雄
⑤眞田 鈺治郎 ⑨重政 隆人 ⑨菅田 好利

新任保護司紹介(12月1日付)

- ②有木 聡 ②清水 寛敏 ②三宅 睦子
③山田 哲矢 ⑥有井 恒二 ⑥豊田 育代
⑦藤田 信 ⑦門田 賢司 ⑧田川 富生

訃 報

- 会 員 ⑧野村 マリ子
名誉会員 池田 敬

○番号は分会名です

号種	保護観察事犯	人数
1	保護観察に付された少年	53
2	少年院からの仮退院者	14
3	刑事施設からの仮釈放者	10
4	刑の執行を猶予された保護観察者	12
合 計		89

種別	生活環境調整犯	人数
少年	少年院入院者	15
成人	刑務所受刑者	51
合 計		66

分会名	保護観察件数	環境調整件数
1分会	13	0
2分会	20	10
3分会	13	18
4分会	11	7
5分会	4	7
6分会	5	9
7分会	2	1
8分会	15	7
9分会	5	7
合 計	88	66



福山地区保護司会会員の皆様、福山地区保護司会の「ホゴちゃんLine」にご登録下さい。左のQRコードをスマホで読ませて登録して下さい。

今後、各種連絡に利用させていただきます。

福山地区保護司会のメールもご利用下さい。MAIL:fukuyama.hogoshikai@gmail.com